

てらんかいガイド

令和元年11月15日(金)～16日(土)

1 年

おうさまとにじのくに(平面)

黄金に光り輝く王さまが住んでいるにじの国を想像しながら描きました。絵具をたっぷりふくませた筆で描いたにじの下に広がる世界は、明るくて楽しそうです。

テープせいじん(平面)

テープで画用紙をぐるりと一周して現れたのは、見たことのないテープの生き物でした。初めて使うパステルにワクワクしながら取り組みました。

ふわふわだっこさん(立体)

ふわふわの綿の気持ちよさを十分に楽しんでから、ぎゅっと抱きしめたくるようなかわいいお友達を作りました。

みちしるべくん(共同制作)

自分の姿を写し取ってもらい、初めての段ボールカッターでザクザクザク。「いつも元気だから赤かな。」「よく青い服を着ているよね。」友達に色を塗ってもらった後で、模様を描きました。誰のみちしるべくんがどこにいるのか、探してみるのも楽しいかも？

2 年

長ぐつをはいたねこちゃん(平面)

4つの長ぐつから煙がモクモク・・・パステルを手でのばしながら浮かび上がってきたのは、かわいいねこちゃんたちでした。かわいい子ねこやお友達と遊ぶねこちゃんなど想像を広げて仕上げました。

えのぐのつみ木(平面)

初めての個人絵の具の学習で制作しました。絵の具や水の量、筆の洗い方などいろんなことを一生懸命考えながら取り組みました。

だーいすき(立体)

土ねんどをにぎってうまれてきたのは、なかよしの2人!みんなそれぞれのなかよしの様子があたたかい作品です。

青空マント(共同制作)

運動会でみんなと心をつなげて踊った「ドラえもん」のマントに、アクリル絵の具でハートを描きました。それぞれが友達への思いをたくさん詰め込みました。展示会の空を、赤・青・黄のマントが彩ります。

3 年

スタンプポンポコ(平面)

「ポン・ポコ」の合言葉とともに消しゴムやペットボトルのキャップなど身近な材料をスタンプングして建てたお家です。白いレンガの並び方や重なり面白さを感じながら制作しました。

ふしぎなたね(平面)

紙粘土で作ったタネからどのような芽や花が出てくるのかを想像しながら制作しました。いろんな植物の物語がたくさん詰まった作品になりました。

しあわせかぞく(立体)

初めてののこぎりで切った木を人や建物に見立てて、しあわせなかぞくを作りました。自分のかぞくや大好きなペット、空想の友達を楽しく想像しながら取り組みました。

わたしたちのまち(共同制作)

自分たちが「住んでみたいな」と思う町を友だちと協力して、大きな段ボールに表現しました。展示会へ続く階段を「わたしたちのまち」がお迎えします。

4 年

色のもりあわせ(平面)

画用紙を自分の好きな色でいっぱいしましょう!と、10色からスタートしました。自分の好きな色って?こだわって?

Flowers(平面)

ある日、図工室に現れたたくさんの花束。「図工室が一気に明るくなった!」の感想をもとに、まず図工室の雰囲気の色だけで画用紙に表してから、お花の様子を感じたまま自由に表現しました。

わくわくアパート(立体)

1メートル20センチのぬき板から様々なおうちが生まれました。家の形や内装など、それぞれにこだわりポイントが異なる43軒です。

うちゅう人のキャンプ場(共同制作)

遠い星からやってきた宇宙人のテントは、色も形も個性豊か。だけど、紙だけでできています。新聞紙を丸めて三角形に組み合わせて作った骨組みは、軽くて丈夫です。

5年

緑の静物画(平面)

緑、青、白、黄色だけで図工室にある観葉植物を描きました。植物の葉っぱ一枚一枚の違い、大きな植物のダイナミックな勢いなど、自分の感じたことを中心に、色の違いだけで表現するのは大変でしたが、筆使いや構図をよく考えて取り組みました。

消してかく(平面)

黒いパステルで塗りつぶした画用紙を消しゴムで消し、その形を元に制作を進めました。目に見えない、空気、光、風を表しながら制作をすすめました。

木製人DX(立体)

一枚の板から、これまでに学習してきた木工の技法を生かして制作しました。切り抜いたものを部品にするという条件だけで個性豊かな木製人がたくさん現れました。

カラフルバブル(共同制作)

もしも本来、白とか透明とかの泡(バブル)の一つ一つが、いろんな色を身にまとったら……。それはそれで、なんとも不思議な美しさになりました。

あすなろ学級

羽を広げて(平面)

5色の絵の具を使って彩られた虫たちが、カーテンから飛び立ちます。半紙の折り方を工夫して染めたカーテン、図鑑や写真を見ながら胴体と羽をパーツごとに分けて描かれた虫たち。それらを貼り合わせて躍動感が伝わってくる作品ができました。

気球に乗ってどこまでも(立体)

新聞紙、お花紙、半紙を重ねて貼っていき、気球を作りました。空に浮かんでいる姿を想像しながら真っ白な機体に色や模様を付け足していきました。楽しそうに乗っている自分や家族、友達、それぞれにストーリーのある作品ができました。

わくわくボックス(共同制作)

テープで好きな模様に貼り付けたボール紙の上からスプレー塗料でダイナミックに色付けをしました。テープをはがして模様が現れる瞬間のわくわく感が伝わってきます。そして、みんなで持ち寄った材料で大きなバッジを作りました。初めて触れる材料にわくわくしながら思い思いに飾り付けました。あすなろ学級のわくわくな箱とバッジが合体した作品です。

6年

石膏像のある図工室(平面)

これまで6年間図工の時間を過ごしてきた図工室の雰囲気や石膏像とともに表現しました。何気ない日常の風景をオイルパステルと絵の具だけで表わすというシンプルな題材でしたが、6年生一人一人が感じる図工室の空気のようなものがよく現れた作品です。

わたしの色・かたち(平面)

本当に自分が心地よい色や形はどんなものなのか。絵の具を操作しながら自問自答しました。自分のこだわりをよく知ること、友達の作品を見るまなざしも深まりました。

わたしのかたち(立体)

針金を触ってできる自分の手の痕跡をもとに制作した、自分から生まれた形のオブジェです。一人一人が感じた針金の魅力が引き立つように針金を足したり、抜いたり、曲げたり、と試行錯誤しながら取り組みました。

ムスンデアート(共同制作)

「仲間との絆」をテーマに、手を取り合う6年生のように、たくさんのビニール袋の角を結びました。空間に留まっているビニールは、とても美しく、光によって様々な表情を見せてくれます。

<家庭科作品>

ナップザック(5年)

ミシンを使って、ナップザックを製作しました。初めてミシンを使うので、使い方から学習しました。まっすぐにぬうのは、すごく大変でしたが、すてきなナップザックが出来上がりました。

エプロン(6年)

生地の色やロープエンドの色を自分で選び、型に合わせて本体の部分とポケットの部分に切り取って、ミシンを使って縫いました。ポケットには、縫い取りとフェルトで自分の思いを表現しました。一人一人のこだわりが詰まった作品で、見ごたえ十分です。

すてきなタカラ箱(あすなろ学級)

好きな色の布と糸、好きな柄を選んで4月からこつこつとスウェーデン刺繍を続けてきました。同じ柄でも色の組み合わせで作品の印象が変わりました。最後に布を箱の蓋に貼り付けて宝箱の完成です。さて、何を入れましょうか？

先生たちの子どもの頃の
作品も校内のどこかに
あるよ。探してみてね。

